

2010年度

| | | | |
|---|--|-----|-------|
| 科目名 | 社会福祉援助技術演習 I | | |
| 担当教員 | 農野 寛治、畠中 義久 | | |
| 配当 | 教福2(42114212) | コード | 24350 |
| 開期 | 通年 | 講時 | 火曜日4限 |
| | | 単位数 | 4 |
| 授業テーマ | 社会福祉の専門的援助技術を展開するために必要な知識と技法について、演習形式により実践的に習得する。 | | |
| 目的と概要 | 社会福祉援助を行うときの基盤となる面接技法や生活問題のアセスメントのための技法等について、その基本原則と援助過程を実践的に理解するために、演習方式の授業を行う。 具体的な相談援助事例を活用し、実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形式により、総合的かつ包括的な援助について実践的に習得することを目標とする。 | | |
| 成績評価法 | 受講態度・筆記試験・課題・演習参加姿勢など、総合的に評価する。 | | |
| テキスト | 社会福祉士 相談援助演習 白澤政和 他 中央法規 | | |
| 参考書 | | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | ソーシャルワークの方法を、より深く理解して欲しいので課題を出すことがあるが、積極的に取り組んでください。 | | |
| 講義計画 | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1) 相談援助演習の意義 2) 相談援助における基本技術 ①人を理解する 3) 相談援助における基本技術 ②クライアントを理解する 4) 相談援助における基本技術 ③他者の心を理解する 5) 相談援助における基本技術 ④自己の心を理解する 6) 相談援助における基本技術 ⑤他者の気持ちを理解する 7) 相談援助における基本技術 ⑥自己の気持ちを理解する 8) 相談援助における基本技術 ⑦他者の行動を理解する 9) 相談援助における基本技術 ⑧自己の行動を理解する 10) 相談援助における面接の技術 ①面接の目的と特性 11) 相談援助における面接の技術 ②面接の基盤 12) 相談援助における面接の技術 ③基本的応答技法 13) 相談援助における面接の技術 ④面接の展開 14) 相談援助における面接の技術 ⑤非言語的コミュニケーション 15) 相談援助における「価値」・「知識」・「技術」 16) ソーシャルワークの概念 17) ソーシャルワークの実践方法ー介入のための様々な方法論ー 18) 治療・環境・生活モデル 19) ストレングスモデル 20) 心理社会的アプローチ 21) 機能的アプローチ 22) 問題解決アプローチ 23) 危機介入アプローチ 24) 行動変容アプローチ 25) エンパワメントアプローチ 26) 家族システム論 27) ケース(ケア)マネジメント①生活ニーズのとらえ方 28) ケース(ケア)マネジメント②生活ニーズと社会資源の連結方法 29) ケアプラン 30) グループワーク | | | |